

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	指定様式に「気づいた事のケアプランのヒント」に、利用者様の思いや意向を把握して記すとなっているが、職員の介護記録の精度に差がある為、記録の精度を向上する。	ケアプランと日常の介護記録とモニタリング、アセスメント、それぞれの記録が反映されており、尚且つ、記録を基にケアを実行できるようにする。	モニタリング、アセスメントをそれぞれご利用者様に担当者を作り、職員全員がご利用者様の思い意向を記すことが出来るようにする。	6ヶ月
2	35	災害対策はホームの職員のみでの対応では限界がある為、運営推進会議等を利用し地域との協力する体制づくりが必要。	地域(自治会長、民生委員、オーナー、近隣住民、行政)との協力体制が取れる関係を作る。	お便りを回覧板で流す事でグループホームを理解して頂く。又、行事を行いグループホームに足を運んでいただける機会を設け、交流を持つ事から始め、会議などに参加して頂けるようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。